

# 白樺と虹と太陽と

令和5年度 校長通信

6月7日発行

第3号

文責 中野善文

## 忙しく充実した5月→仲間と共に挑む6月

いよいよ6月になりました。生徒に5月の振り返りと6月の目標を聞くと、「とにかく忙しかった」「充実していた」という振り返りとともに、「6月は中総体に向けて頑張りたい」という声が多く聞かれます。3年生にとって最後の中総体を、全校のみんなで支えようという気持ちが自然と伝わってきます。

部長会からの申請で始まった部延長は、「先生方やコーチの方など、支えてくださっているすべてのみなさんに感謝の気持ちを持ちながら頑張る」という約束のとおり、時間を大切に集中した取組と大きな声による挨拶が、各部の活動において見られます。

最後の大会に向けて、悔いを残さないように頑張る3年生とそれを支えようとする下級生、生徒の頑張りに応えるように共に汗を流しながら熱心に指導される先生・コーチの方々、今、山形中学校は、中総体に向けて全校が一つになって取り組んでいます。

部活動の地域移行や働き方改革の推進が求められる昨今ですが、部活動のもつ意義の大きさを改めて感じているところです。

中総体に向けて、一昨日の全校朝会では、卒業した2人の先輩の作文を紹介しました。

私が入部したとき、部員が少なかったので1年生から出場しました。結果はぼろ負け。

わかっていたけれど悔しかったです。でもそこから、県大会に行けるくらい強くなりたいと思うようになりましたが、初戦負けや県大会手前で負けることが多かったです。やってきた本番団体戦。特に心に残っているのが久慈中との地区代表決定戦です。第1ダブルスを落としてしまって私の番。ここを落としたり負けが決まってしまう。あまりの緊張からはじめはミスが続きました。しかしずっと聞こえていたのがみんなの声援でした。私にとって、とても心強くパワーをもらえました。結果は、2-0で勝利。次につなげたことの安心感とまだ残る緊張感で気持ちが不安定でした。みんなでダブルスの二人を応援。試合中ラリーが途切れるごとにドキドキしました。そして、試合終了。シャトルの落ちていた先は、相手コート。やっとつかんだ県大会。すごく嬉しかったです。

部活動では、仲間と協力し合い、部全体で強くなれるように活動しました。

個人で、良い結果を残したい気持ちは、もちろんありました。でも、それ以上に、山中として良い結果を残したいという気持ちのほうが強かったです。常に努力し、2年生のときには団体優勝、3年生の中総体では、とても悔しかったけど準優勝。この良い結果を残せたのは、全員で協力してきたからこそ、成し遂げられたのだと思います。

### <中総体のキーワード>

**努力 悔しさ 仲間 緊張  
協力 ミス 応援 パワー**

先輩方の作文には、個人の頑張りはもちろん、仲間と思いを共有し、協力し合い、励まし合うことで、良い結果を残すことができたことが記されています。

昨日の抽選会で対戦相手も決まりました。対戦相手は誰であっても、これまで頑張った自分を信じ、共に練習に励んだ仲間を信じ、思い切ったプレーで挑んでほしいと思います。

## ◆高い志と挑戦する気持ち◆を大切に

4月の盛岡一周継走に引き続き、特設陸上部の8名の選手が、5月28日に開催された久慈地区通信陸上競技大会に挑みました。

個人種目は、2年男子100m、2年女子100m、共通女子200m、共通男子走幅跳、共通女子走幅跳、共通女子砲丸投の6種目に出場、団体種目は、共通女子4×100mリレーに、昨年度低学年女子リレー4×100mで県大会に出場した選手が、それぞれ出場しました。

短い練習期間ではありましたが、それぞれの目標に向かって、選手同士で声を掛け合いながら技術の向上に努めました。当日は、あいにくの小雨でしたが、練習の成果を発揮して多くの選手が自己記録を更新しました。

このように、高い志をもっていろいろなことに挑戦する生徒がいることが、他の生徒に刺激を与え、みんなが何かに挑戦しようという雰囲気や育てていきます。そして、それぞれが何かに挑戦することで、学校に活気が生まれ互いの成長を育んでいきます。このような循環こそが、本校学校教育目標「自主・創造・躍進・敬愛」の営みと言えます。

1年生の皆さんも、ぜひ先輩たちの姿を見て、いろいろなことに挑戦することを大いに期待しています。



## 目指せ!美しいハーモニー♪ 全校の歌声で♪



本通信1号で、今年度は特設合唱部を休部とし、生徒会・委員会活動を中心に全校合唱活動を充実させること、全日本合唱コンクールの出場については、全校の生徒ならびに先生方の考え、合唱の技術指導等を総合的に考え判断することをお伝えしました。

全校生徒によるアンケート結果、今後の発表会（地区合唱交流会・県中学校総合文化祭）への全員参加とその練習、合唱の技術指導等、これらを総合的に判断し、今年度の全日本合唱コンクールへの出場は見送ることとしました。

しかし、このことは、全校合唱の質をより高めるための前向きな選択と捉えてほしいと思います。

まずは、7月12日に開催される「久慈地区中学校合唱交流会」に向けて練習を積み、素晴らしいハーモニーを会場に届けてほしいと思います。そして、地域を元気にする合唱を文化祭で、11月に出演する「岩手県中学校総合文化祭」では、演劇の最後を、テーマとなる合唱曲で締めくくってほしいと思います。



## やまどりの遊ぶ丘辺に～♪ まささかの…!?

先日、1階ホールのガラスを突き破って、やまどりが侵入しました。幸いなことに目立った外傷もなく、無事に外に飛び立っていきました。改めて、校歌の情景の素晴らしさと歌詞に込められた想いについて考える機会となりました。

「やまどりの遊ぶ丘辺に そびえ立つ 我らが母校」⇒「いそしまん 学びの道に」（自主）

「つつじ 咲く希望の丘に 仰ぎ見る 我らが母校」⇒「求めなん 青春の知恵」（創造）

「白樺の揺れる丘辺に 陽に映えて 我らが母校」⇒「果たさなん 我らが使命」（躍進）

この素敵な校歌を、みんなで想いを込めて、これからも歌い継いでいきましょう。